



# 第 42 回鉄構塗装技術討論会 開催予告と発表テーマ募集

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

- ・日時／会場：2019年10月24日(木)～25日(金)／市ヶ谷自動車会館2階大会議室
- ・協賛(予定)：(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会  
(一社)日本鉄鋼協会 (一社)日本塗料工業会 (一社)日本橋梁建設協会  
(一社)日本防錆技術協会 (公社)腐食防食学会 日本塗装技術協会  
(一財)日本塗料検査協会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■ 本討論会は土木学会のCPDプログラムに認定の予定です。

平成から令和へと元号が変わり、わが国では新しい時代が幕を開けました。平成が始まった当時とは対照的に、社会全体が慶祝ムードに包まれているようです。しかし、改元によるご祝儀相場によって、わが国の経済にプラスの効果をもたらされるとの向きもある一方で、この秋には消費税率の引き上げが予定されており、景気の先行きは不透明な状況となっています。

全国の道路橋やトンネルなどでは、平成26年に義務化された5年に一度の定期点検が一巡し、本年4月から二巡目に入りました。国土交通省の調べによると、平成29年度までの点検結果累計において、約5万9千箇所 of 橋梁が「緊急措置段階」「早期措置段階」と判定されたものの、特に地方公共団体管理施設における点検後の修繕着手率は、9～13%と低い水準にとどまっていることが明らかとなり、逼迫する地方財政状況が改めて浮き彫りとなりました。この様な厳しい状況の中で、既存の社会インフラの機能向上や長寿命化を経済的、効率的かつ効果的に達成することのできる技術への期待は高まっており、この観点から、橋梁などの鋼構造物の防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われま

す。各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて討論会の発表を募集いたしますので、ふるって応募くださいますようお願いいたします。また、発表の応募とともに、本討論会へ参加いただきますよう関係各位へのご連絡ともどもお願いいたします。

実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

# 発表テーマの募集について

## ■募集する発表テーマ

鋼構造物の塗装技術に関して、分野を限定しない広い範囲からの話題提供を歓迎いたします。文献紹介、研究ノート、経験データ（トラブル対策事例も含む）、ご意見などを各自でとりまとめてご発表ください。

## ■募集期間

2019年5月15日（水）～6月28日（金）

## ■応募後のスケジュール

- ・原稿執筆依頼 …………… 2019年7月初旬
- ・発表原稿提出締切日 …………… 2019年9月2日（月）
- ・参加申し込み締切日 …………… 2019年10月15日（火）
- ・討論会開催日 …………… 2019年10月24日（木）～25日（金）

## ■応募方法

発表をご希望の方は下記項目をご記入の上、ご応募ください。

FAX、郵送、E-mailのいずれも受け付けます。

- ① 題記 …… 『第42回鉄構塗装技術討論会発表申し込み』
- ② 発表題目 …… 和文の題目をつけてください。
- ③ 発表概要 …… 200字程度で概要を記載してください。
- ④ 発表者氏名 …… 連名の場合、発表者に○印を付してください。
- ⑤ 連絡先 …… 会社名・所属・役職・住所・電話番号・FAX番号・E-mail

※ 討論会当日は、発表20分＋質疑応答10分でプレゼンテーションしていただきます。

※ 発表はパワーポイント使用に限定します。

## ■応募先

一般社団法人 日本鋼構造協会『第42回鉄構塗装技術討論会』係  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル3階  
TEL：03-3516-2151 FAX：03-3516-2152  
E-mail：[jssc-paint@jssc.or.jp](mailto:jssc-paint@jssc.or.jp) 担当：横手，山本

## <討論会の参加申込方法>

参加申込の方法および当日のプログラムについては詳細が決定次第、ご案内いたします。  
（本年は、9月頃よりの参加の申込を開始する予定です。）

○討論会の参加費用（予定）（発表者も参加費用が必要です。）

1名につき

- ・会員（協賛団体含む）…………… 10,000円（消費税・発表予稿集代を含む）  
学生・官公庁職員
- ・一般 …………… 13,000円（ “ ” ）